



写真は、宇都宮セントラルクリニックの乳腺専門医で、ブレスト(胸部)センター長を務める伊藤淳さん(46)の家族だ。同クリニックは、県内の乳

## 支局長からの手紙

庭先で楽しく食事をする子どもと、寄り添う母親。パワーポイントで大写しにされる古い一枚の写真に、私のつらい記憶もよみがえり、「がん」について考えるようになった。

## 「乳がん」と戦う伊藤医師

写真は、宇都宮セントラルクリニックの乳腺専門医で、ブレスト(胸部)センター長を務める伊藤淳さん(46)の家族だ。同クリニックは、県内の乳

がん検診率向上の啓発活動をしているNPO法人「ピンクリボン」の「みや」を支援。伊藤さんも毎月のように県内を巡回し、講演している。



「10冠」目となったトロフィーを手に和泉市長(右)に優勝報告する堀さん

## 足利出身・堀さん 市長訪問

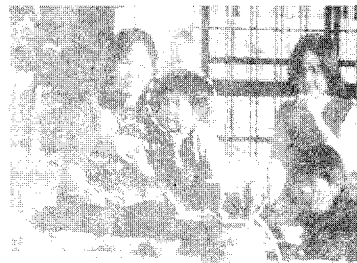
足利市の「あしかが輝き大使」で、テレビ東京の「THEカラオケ★バトル」で通算10回目の優勝を果たした同市出身の慶応大1年、堀優衣さん(18)が同市役所を訪れ、和泉聡市長に結果を報告した。

堀さんは同番組で2017、18年の年間チャンピオンに輝くなど大活躍しており、9月29日に放送された「全日本大学生歌うま王決定戦2019」で番組史上2人目となる「10冠」を達成。翌30日、トロフィーを持参して

エア後、唐田から祝福され、ようやく実感が湧いてきた。目標だっただけにうれしいと顔をほころばせた。進学に伴い、今春から神奈川県内で暮らし始めた。和泉市長から大学生生活について問われると、「専門家に師事し発声や歌唱の技術の指導も受け始めた」と近況を報告した。

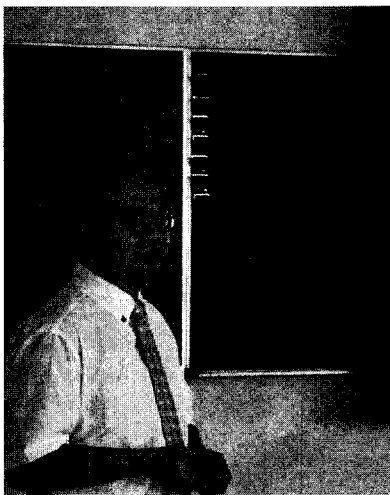
11月3日には足利市のマラソン大会開会式で国歌を歌う予定。今回の優勝で「カラオケ世界大会」の国内大会決勝戦のシード権を獲得し、「世界チャンピオン」としてまた報告に来たい」と決意を披露した。

【太田穂】  
高津戸(元高津戸)宝木町。通5時半、宝丘。葬儀は同所。喪主男進さん。  
橋町。通夜時、セレモ愛。葬儀は半、同所。久さん。  
渡辺美子原台。通夜時、アトラル。葬儀は同所。喪主で長男哲夫



「小さい」小児科医を目指し福島

県立医大に入った。母喜美子さんが栄養士として



伊藤さんはセミナーの度に乳がんで亡くなった母の写真を受講者に見せて、検診の大切さを訴えている。壬生町保健福祉センターで

動めていた病院で、自ら注射をする糖尿病の子どものを見て「ショックを受けた」からだ。だが伊藤さんが大学4年の時、喜美子さんは亡くなった。56歳。命を奪った「乳がん」と徹底的に戦うと決め、乳腺科に専攻を交えた。ピンクリボンをついて紙面を通じて支援した。がん」に直面し、初めてつらさを知る。私もそうだった。5年前の冬、二つ下の妹の膵臓がんを知らされた。妹は告知されても気丈にふるまい、「がん細胞が消えたよ」「必ず治すから」と笑顔を見せた。夏には一家で海外旅行に行った。だが告知されて10カ月後に力尽きた。45歳の誕生日の1カ月前。臨終に立ち会

【上瀬瀬浄】  
町富田。通6時、セレ  
中村義市  
込町。通夜時、なるせは7日午前喪主は長男  
栃木  
足利  
町。通夜時、メモリタルホール午後1時、夫邦雄さん  
中山アサ  
宮町。通夜時、メモリ家族葬は7同所。喪主子さん。  
足利  
町。通夜時、メモリタルホール午後1時、夫邦雄さん  
中山アサ  
宮町。通夜時、メモリ家族葬は7同所。喪主子さん。  
足利  
町。通夜時、メモリタルホール午後1時、夫邦雄さん  
中山アサ  
宮町。通夜時、メモリ家族葬は7同所。喪主子さん。